

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 4 年度第 3 回 富士見市教育振興基本計画審議会 議事録</p>							
日 時	令和 4 年 1 0 月 1 2 日 (水)		開会	午後 7 時 0 0 分			
			閉会	午後 8 時 4 5 分			
場 所	富士見市役所 1 階 全員協議会室						
出席者	委 員	長堀会長	高橋副会長	富士委員	小林委員	石川委員	
		○	○	○	欠	○	
		秋元委員	八木橋委員	金子委員	坂田委員	小栗委員	
		○	○	○	欠	○	
	アドバイザー	太田氏、田中氏、三浦氏					
	説明員	教育部長、学校統括監、教育政策課長、学校教育課長、小中学校連携教育推進担当課長、教育相談室長、学校給食センター所長					
事務局	教育政策課 副課長、主査						
公開・非公開	公開 (傍聴者 0 人)						
議 題	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 第 3 次富士見市教育振興基本計画の施策について (学校教育分野) (2) その他 4 閉会						

議 事 内 容 (要 旨)

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 第 3 次富士見市教育振興基本計画の施策について (学校教育分野)

○基本目標 1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成

委員 イングリッシュサマーキャンプについて、「など」を追記した理由は何か。

説明員 イングリッシュサマーキャンプのほか、小学校 3 年生から A E T と英語に親しむ取組みを想定している。

委員 英検受験料について、補助対象学年を記載しない理由は何か。

説明員 現在は、小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象としているが、対象学年の拡大等を見据えて、記載しないこととした。

委員 情報教育の充実について、新規取組みの方向性を教えて欲しい。

説明員 G I G A スクール構想が始まり 2 年経つ。今後は 1 人 1 台端末の効果的な活用に向け、プロジェクトチームで研究を進めていく。また、保有する様々なデータについて、N T T と連携し、教員の指導力向上等に活用したい。

アドバイザー 文科省においてもデータの利活用を推進している。様々なデータを組み合わせる等の実証的な検証を行い、教職員の負担軽減などにもつなげていきたい。

委員 キャリア教育については、幅広い職種があることを伝えて欲しい。

説明員 はつらつ体験として、商業施設や保育所での体験活動を行っている。今後、農業や工業など様々な職種を体験できるよう工夫して行う必要がある。

委員 読書活動の充実について、中学生は図書館で本を借りて読む時間があるのか。

説明員 小中学校の図書館における貸出状況には差がある。中学校においては、引き続き配架を工夫するなど魅力ある学校図書館づくりを進める。

委員 セルビア共和国や外国籍の子どもたちの出身国等について学ぶ機会を設けて欲しい。また、小学校に英語の図書を置いて欲しい。

説明員 国際理解教育の一環として、セルビア給食を提供しているほか、総合的な学習において、他国を知り、自国を知る学びを行っている。図書については、子どもたちの希望等を大切にしながら、学校司書が選定している。英語の図書は少しずつ増えている。

アドバイザー 「外国人」という表記に違和感があるがいかがか。外国籍の子どもの母語教育の観点から、母語の本を配置しているか。

説明員 「外国人」の表記については確認する。日本語の学びに重点を置いているため、母語の本は配置していない。

○基本目標2 多様性を認めあい、誰一人取り残さない教育の推進

委員 異校種間連携・小中一貫教育の推進について、小1プロブレムや中1ギャップの解消に向けた具体的な施策を教えて欲しい。

説明員 就学前に、幼稚園等を訪問して状況を確認し、学校と連携している。また、小学校1年生が新しい生活に適應できるようスタートプログラムがある。

委員 特別な配慮が必要な子どもは、特別支援学級に入るのか。

説明員 保護者の意向を大切にしながら、その子に応じた選択を行っている。

委員 型にはめた指導を行うのではなく、個々に応じた指導ができるが良い。

説明員 個々の発達状況をはじめ、様々な点を考慮しながら授業を進める必要がある。教育相談室にて巡回相談を行い、必要に応じて保護者と面談等を実施している。

委員 子どもの障がいについて、保護者が受容しないケースがある。特別支援学校に通った方が伸びる場合があると思う。通常学級に在籍し授業が進まない等のケースがある場合、他の保護者が不満を抱えることもあるので、バランスが難しい。

委員 教職員にゆとりがあれば、個別に対応することが可能であると思う。通常学級在籍時に元気のない様子であった子どもが、特別支援学校に転籍し、生き生きとしている様子を見たことがある。その反対のケースもある。その子にあった教育が大事であり、選択できることが重要である。

説明員 学校と保護者が相談しながら対応に努めているほか、スクールカウンセラーや臨床心理士などの専門知識を有する者が子どもの様子等を観察しながら対応している。

アドバイザー 異校種間連携・小中一貫教育の推進を行う目的は何か。(1)で合同研修について記載があるが、何を目的として行うのか目的が明確になるよう記載内容を工夫して欲しい。

説明員 (1)に目的として9年間を見通した教育活動を展開する旨を記載している。

委員 将来的には、小中施設一体型とすることもあるのか。

説明員 公共施設マネジメントの観点から市全体の計画において検討する必要がある。

○基本目標3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成

委員 学校体育の充実について、大学等の連携を新規施策とした経緯を教えて欲しい。

説明員 新体力テストの結果等から、小学校におけるテコ入れ策として、大学と科学的、技能的な面で協力を得ることができないか模索している背景がある。

委員 ボール投げは、科学的根拠に基づいて伸ばせるものである。あまり数値にこだわると体育が嫌いになるという懸念がある。子どもたちが楽しんで体育できる、という観点を大切にしたい。

説明員 記録が伸びることも楽しみの一つとなるよう取り組んでいきたい。

委員 技術を磨く点では、大学との連携をぜひ進めて欲しい。

アドバイザー
説明員
委員
説明員
委員
説明員
委員

包括協定を締結している大学はあるのか。
女子栄養大学及び淑徳大学と包括協定を締結している。
体育だけではなく基礎学力向上においても大学と連携しているのか。
連携している。
幼稚園においては、運動や学力的な分野について専門的な人材を活用している。小学校においては教員が全て教えている。各授業において専門的な知識やルールが必要なものがあると思うが、教員はどのように学んでいるのか。

説明員

学習指導要領に基づき指導を行っている。例えばスポーツなど専門的に習っている児童からすると、体育の授業が物足りないと感じることがあると思う。一方、初めての児童にとってはルールを覚えるだけでも大変なことである。学校においては、正式なルールにこだわるのではなく、まずはゲーム感覚でみんなで楽しく学ぶことを重視している。また、習っている児童は、初めての児童に教えることで学べることもある。体育の授業については、段階的に系統立てて行っている。

委員
説明員

給食の外部委託について教えて欲しい。
令和5年度から調理業務と洗浄業務について民間委託を行う。献立作り、食材発注や食材の検収については、従来通り栄養士が行う。

委員
説明員
委員
説明員

一食の単価はいくらか。
小学校は250円、中学校は300円である。
物価高騰により、給食の質が落ちることはないのか。
国産で天然のもの、旬なもの等を中心にメニューを工夫しながら提供している。

委員

安全防災教育に関連して、ふじみ野小学校周辺道路の植栽が子どもの背を越す位伸びている。教育委員会が担当ではないと思うが、子どもの安全第一に教育委員会からも働きかけて欲しい。

説明員

通学路に関しては、毎年道路治水課、学校、PTAで点検を行っている。気づいた点などがあれば、伝えて欲しい。

委員
説明員

学校ファームでは何を栽培しているのか。
サツマイモやお米などである。

○基本目標4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進

アドバイザー
説明員

コミュニティ・スクールについて説明して欲しい。
現在は、学校との意見交換の場として学校運営支援者協議会がある。県としては、令和8年度までにコミュニティ・スクールを県内全自治体に設置する意向である。

委員

大会等出場補助金事業は以前からある制度か。また補助内容等を教えて欲しい。

説明員

制度自体は以前からある。関東大会や全国大会に出場する際の交通費等を補助している。

委員
説明員

外部指導員がいることは良い。外部指導員の選考方法を教えて欲しい。
学校からの推薦に基づき選考している。

委員 コミュニティ・スクールは学校区ごとに設置するのか。ノー部活デーの記載が削除されているのは、ノー部活デー自体がなくなったからか。教職員の負担軽減について、児童生徒の出欠席の連絡に関する取組みはあるのか。

説明員 コミュニティ・スクールは学校区ごとの設置を想定している。
ノー部活デーについては、中学校における部活動の基本方針に適切な休養日等の設定を規定しており、取組み自体に変更はない。

出欠席については、1人1台端末に搭載されているソフトを活用している学校がある。電話連絡や連絡帳を通じて休みの理由や状況等を把握する利点もあることから、出欠席の把握方法については、各学校の判断に委ねている。ICTモデル校において、電子化等についての研究や各校への情報発信を行っているところである。

委員 スクール・サポート・スタッフについて説明して欲しい。

説明員 全小中学校に配置している。電話対応や印刷等の事務作業を行っており、教職員の負担軽減につながっている。

委員 教職員の資質向上のための取組みとして研修が挙げられているが、働き方改革の面からみるといかがか。

説明員 研修内容を精査するなど工夫が必要である。業務改善委員会において検討を進めている。

委員 教職員の負担軽減と資質向上は共に重要である。工夫しながら進めて欲しい。

委員 N T Tの支援を得ながらICTを活用すべきこと、人が行うべきことについて整理し、教員がゆとりを持って働けるよう取り組んで欲しい。教員が健康で元気であることが大事であり、子どもの元気につながる。

アドバイザー 成果指標について、「学校に行くのが楽しい」と回答した割合とあるが、施策内容にそぐわないのではないか。

説明員 成果指標は検討段階の為、ご意見を踏まえて再考する。

4 閉 会